

令和7年度 放課後デイあかり 放課後等デイサービス 自己評価

会議
2026年1月14日 13:30～14:00
参加者:吉川 大脇 宮浦 鶴谷真

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・遊び等によっては密集しすぎる時があるのでグループに分けて外出するなどで密になりすぎないようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・点字ブロックや手すり、車椅子も入れるトイレを設置している。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・年度ごとに課題を設定し、毎月評価を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・年1回保護者アンケート実施。保護者の意見を参考に改善を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・月1回内部研修実施。外部研修にも参加している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・1人の利用者につき、半年に1回の個別支援会議・保護者とのモニタリングを実施している。送迎時なども積極的に保護者と話し、様子を職員間で共有している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・発達検査の結果がある児童は参考にしている。その他のアセスメントツールは検討中。

適切な支援の提供

11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・多くの職員の意見を取り入れられるようにしていく。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・利用者のやりたいことを尊重しつつ、様々なルールのある遊びやプリントなどの課題、外出等提案している。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・平日、休日、長期休暇での課題や過ごし方について、例会や個別支援計画会議、職員会議で設定している。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・職員で話し合い、計画を作成している。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援開始前に申し送りをしている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・その日に伝える必要がある情報はLINEや電話等で情報共有をしている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・保護者への連絡帳、放デイ内での支援記録を記入している。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期的にモニタリングを行い、計画の見直しに役立っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			・職員の間でもガイドラインの理解を深めていく。 内部研修でも扱った。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・担当者を人選し、参加できるように調整している。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・必要に応じて学校との連携を図っている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・医療的ケアの必要な利用者がいない。

関係機関や保健

保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・就学前の様子を保護者からの聞き取りを行っている。必要に応じて連携を図る。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・実施している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・連携の機会が増えるように調整していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・どのような形で交流があれば児童の良い経験になるか検討中。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・参加している。放デイフェアや研修にも参加した。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・モニタリングの他にも連絡帳や送迎時に伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・子どもの関わり方について思いを聞いて助言を行っている。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に説明を行い、契約後も質問があれば説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者の悩みを理解し、保護者の立場に立った助言や支援に努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・保護者からの要望があれば計画しようと思っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・検討会議を行い、改善に向けて話をしている。

明 責 任 等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・年4回あかり新聞発行
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報の保管は鍵付きロッカーに入れている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・連絡帳だけでなく、送迎時に口頭でも伝えている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・今後検討していく。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・研修をしており、保護者にも周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・施設に消防署の方に協力いただき、年2回避難訓練・消防訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・内部研修や虐待防止委員会を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束についてのマニュアルはあるが、事例はない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者よりアレルギーの聴き取りを行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・些細な事でも報告し、職員共有している。